

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

▶ 来週の日経平均予想

▶ ピーク to ピークから (参照：5 月～6 月ピーク to ピーク 2023 年版)

6 月 SQ1 週間前の値は 31,524.22 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「6 月 SQ1 週間前の終値は、6 月 SQ2 週間前の終値 (30,916.31 円) よりも高くなる」でしたので、今回はデータ通りでした。

日	値	変動	日	値	検証	乖離率
3月24日	27,385.25(終値)	高くなる	3月31日	28,041.48(終値)	○	0.963
3月31日	28,041.48(終値)	高くなる	4月7日	27,518.31(終値)	×	0.963
4月7日	27,518.31(終値)	安くなる	4月14日	28,519.43(SQ値)	×	1.036
4月14日	28,519.43(SQ値)	安くなる	4月21日	28,564.37(終値)	×	1.002
4月21日	28,564.37(終値)	高くなる	4月28日	28,856.44(終値)	○	1.010
4月28日	28,856.44(終値)	高くなる	5月2日	29,157.95(終値)	○	1.010
5月2日	29,157.95(終値)	安くなる	5月12日	29,235.08(SQ値)	×	1.003
5月12日	29,235.08(SQ値)	安くなる	5月19日	30,808.35(終値)	×	1.054
5月19日	30,808.35(終値)	高くなる	5月26日	30,916.31(終値)	○	1.004
5月26日	30,916.31(終値)	高くなる	6月2日	31,524.22(終値)	○	1.020
6月2日	31,524.22(終値)	高くなる	6月9日	?		

(独自作成)

次に来週の予想です。

6 月 SQ1 週間前の値と SQ 値を比較すると、上昇したパターンは 28 回中 15 回あります (①)。

次に、6 月 SQ1 週間前までの 1 週間が上昇したパターンは 15 回あります。そのうち 9 回は 6 月 SQ1 週間前より SQ 値の方が下落しています (②)。

そこでもう一つ条件。6 月 SQ1 週間前の時点で 5 月 SQ 値より高いパターンは 15 回あります。そのうち 8 回は 1 週間後の SQ 値の方が高くなっています (③)。

①、②、③より「6 月 SQ 値は、6 月 SQ1 週間前の終値 (31,524.22 円) よりも高くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

▶ 外国人の売買動向 (資料：外国人の売買代金、信用残の推移)

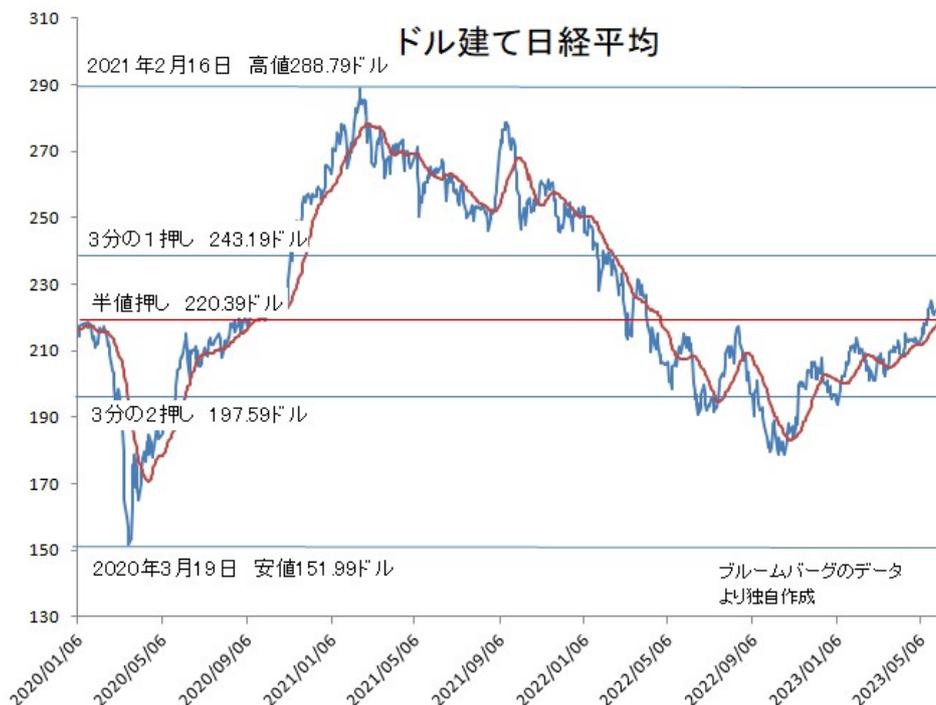
5 月第 3 週の外国人は 3,816 億円の買い越しでした。これで 9 週連続、この間の累計も 4 兆円を超えてきました。これで 10 年前の 10 週連続まであと 1 週となりましたが、日経平均は今週も大きく上昇していますので多分来週も外国人は買い越しになっていることでしょう。なお当時と同じ上昇率となると 31,657 円でしたが、これも来週は突破しそうです。まさに異次元の上昇と言えます。

次にドル建て日経平均です。先週に比べ若干円高にぶれていますがそれ以上に (円建ての) 日経平均が上昇したため、ドル建て日経平均も上昇。週末は 5 月 22 日の 225 ドル台を上回り、



ニュース証券株式会社

昨年3月以来の水準まで到達しました。コロナショック後の値幅に対し半値水準を上回ってきましたので、次は3分の1押し水準である243ドル（1ドル=140円とすると34,020円）が目安になります。



ドル円相場は、半年ぶりに140.90円台を付けてスタートしました。しかし来月のFOMCで追加利上げ観測が低下したことで138円台まで円高が進みました。ところが週末の雇用統計を受け、140円近辺で引けました。とはいうものの、マーケットは6月の利上げは想定していないようです。



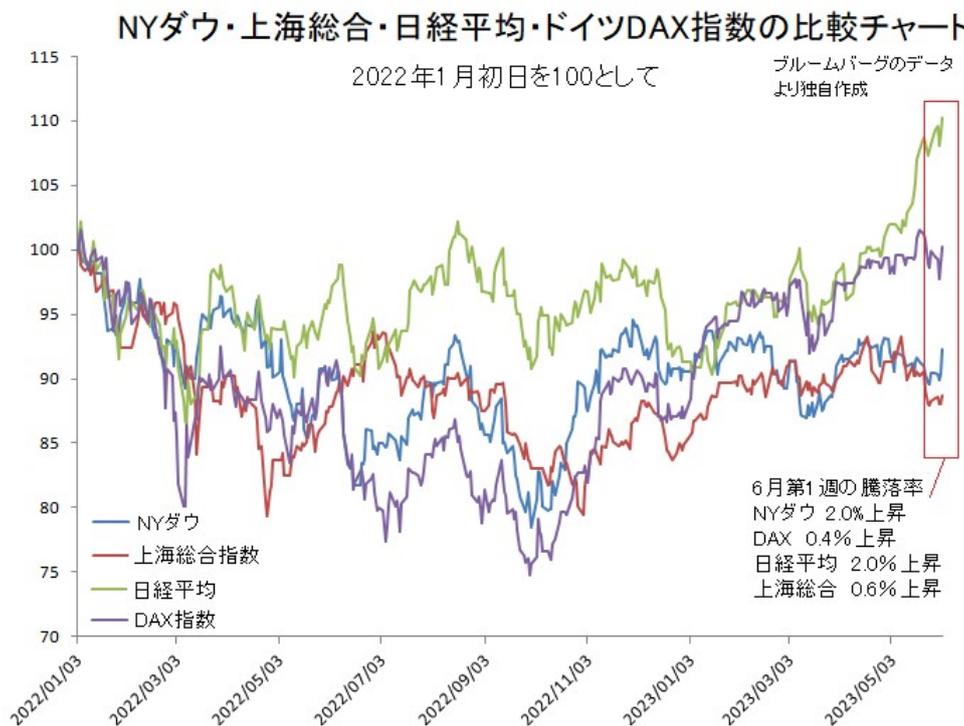
次に世界のマーケットですが、今週は全面高でした。先週まで4か月ぶりの水準まで下落していた上海総合指数も今週は反発しています。またNYダウやドイツDAX指数も反発。2週



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
 〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

間ぶりに4指数そろって上昇となりました。なお日経平均同様、絶好調のナスダック指数は今週も上昇し6週連続高、これで昨年8月の高値13,181.08ポイントに迫ってきました。



▶ チャート分析

今週の日経平均は607円高と8週連続高となりました。5年ぶりの8週連続高です。しかも先週次の高値の目安とした31,434円をあっさり突破しました。



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
 〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

ここまで来るといよいよ 1989 年 12 月 29 日の 38,957.44 円が現実味を帯びてきますが、それはもう少し先の話になると思います。その前に目先の次の高値の目安を検証します。

先週は直近の安値（3 月 16 日 27,010 円）から、昨年高値 29,222 円までの値幅の倍返しを次の高値の目安にしましたが、今回は今年の安値（1 月 4 日 25,662 円）から、昨年高値の倍返しで見ると 32,782 円となります。先ほどドル建て日経平均で 3 分の 2 戻し水準（1 ドル＝140 円として 34,020 円）が次の目安と書きしましたから、概ね 32,000 円後半から 34,000 円というのが大まかな高値の水準になると考えます。

いずれにしても、これまでの物差しでは測れない規格外の上昇局面に入っていますので、大まかな想定しかできないのが現状です。ただ世界的に見ると景気は下振れする方向に進んでいます。決して楽観的にならず、小さな変化を探していきますが、まずは今回上昇の原動力だった値がさハイテク株（東京エレクトロンやアドバンテスト）や、直近動き出したソフトバンクの動向に注視します。

- ・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- ・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。

N e w s 20230605-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会